



発行所 日刊木材新聞社  
〒135-0041 東京都江東区冬木23-4  
編集・営業 ☎03-3820-3500  
FAX03-3820-3519  
総務・販売 ☎03-3820-3511  
FAX03-3820-3518  
https://jfpj.jp/  
e-mail info@n-mokuzai.com  
購読料 1ヵ月 6,200円  
©日刊木材新聞社 2018  
本紙の無断複製(コピー・PDF)配布は、著作権の侵害にあたり違法です。

木材に  
興味津々  
木材建材ワイワリー  
Japan Lumber Reports  
電子版

# CLTへのGIR接合法開発

## 躯体から木質化まで利・活用の幅広がる

### SMB建材・藤寿産業

SMB建材(東京都、角柄明彦社長) 木構造建築部は、「サミットCLT工法」を藤寿産業(福島県郡山市、蔭山寿一社長)と共同開発し、7日から本格展開を始めた。既に8月27日付で構造性能評価を取得している。

サミットCLT工法は、CLTに対応したGIR(グルード・イン・ロッド、鋼棒挿入接合)工法。SMB建材木構造建築部が展開する木質2方向ラーメン構造「サミットHR工法」で培ったGIR接合の知見を適用して開発した。CLTの仕

口に孔加工してM20の全ねじを挿入し、エポキシ樹脂で充填硬化させる。CLTをGIR接合するため、接合部が露出しない。このため意匠面に優れるだけでなく、気密性を保つことができ、熱橋がなく結露の恐れがない。

サミットCLT工法は軸組と併用した構造で、CLTに鉛直力を負担させず耐力壁としてのみ使用するため、CLTを薄くできる。また、軸組の柱材には集成材や製材などの使用が可能だ。

CLTは、壁、床、屋根材として用いることができる。とりわけ屋根面は、小梁なしで構成でき、部材や工期などの低減が期待される。

これまで、CLTへのGIR接合は接合性能が検証されていなかったため、建物ごとに個別評定を取得する必要がある。だが、同

**総合床工事**  
フローリング  
新建材

マルコー(株)に  
御用命下さい

江東区新木場1-9-6  
TEL (3521)0505  
FAX (3521) 0931

工法は構造性能評価する。「HP評価(木)18-1012-12」(ハウスプラス確認検査)を取得。これにより個別評定を取得する必要がなくなり、通常の建築確認で対応することが可能となった。

また、パネル工法の構造計算を適用する必要もなく、従来の軸組工法の構造計算だけで対応できる。構造性能評価は接合部で評定を取得しているため、CLTの部分使いなど、建物の一部だけで使用することが可能だ。

同工法はサミットHR工法の流れをくむもので、サミットHR工法と同じくRC造やS

**集成材**

FSC SGEC  
FSC® C121389 SGEC/31-31-1007  
「緑の環境」 お問い合わせ下さい

**TSC 株式会社 ティ・エス・シー**  
〒292-0838 千葉県木更津市潮浜2-1-53  
TEL/0438-37-0206 FAX/0438-37-2349  
ホームページ http://www.syusei-tsc.com

**主な記事**

ハウジング版 ▽3面 これからの省エネ  
2030年までにCO2を2割削減▽  
4〜5面 18年度上半期大手住宅会  
社の動向  
▽7面 伊万里木材市場 九州一円から優良  
材を集荷

工法を用いることで、RC造やS造の対抗としての「木造」ではなく、「木質化」の切り口で新築からリフォームまで広がっていく。今後、木造躯体から木質化ビシネスまで幅広く、木材を適材適所に生かせるように対応していきたい」と話す。